

令和元年度 決算

総括事項

所属所数 **41**

市14、町11、一部事務組合等16

組合員数 **16,910人** うち任意継続組合員186人

前年度より3人増加しました。

平均標準報酬月額 短期 **387,751円**
長期 **385,338円**

前年度より短期は2,097円、長期は2,156円増加しました。

被扶養者数 **15,132人** うち任意継続被扶養者105人

前年度より172人減少しました。

短期経理

組合員とその被扶養者の医療費の支払いや休業・災害給付などの短期給付を行っています。

■ 短期給付

収入は、標準報酬月額等の増加により掛金・負担金が増加し、さらに高齢者医療支援金等の負担に対する高齢者医療運営円滑化等補助金も交付されました。

支出は、育児・介護休業手当金に係る拠出金率の引き上げにより連合会拠出金等が増加したものの、前期高齢者納付金が減少しました。

収入…負担金・掛金等	10,820,018,372円
支出…給付金・納付金等	10,561,952,612円
差引(当期短期利益金)	258,065,760円

決算の結果、当期短期利益金が生じたので短期積立金に積立て、短期積立金は796,024,256円となりました。

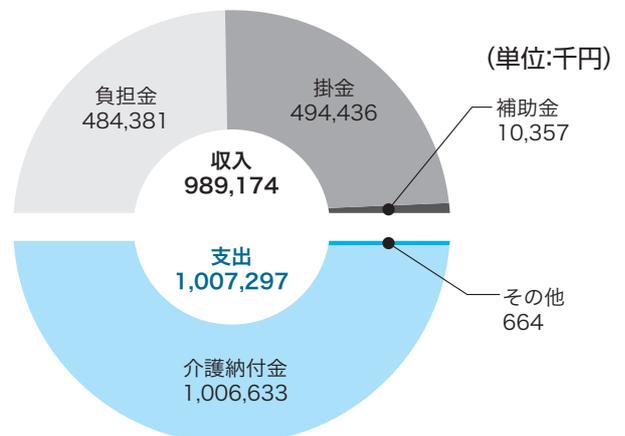
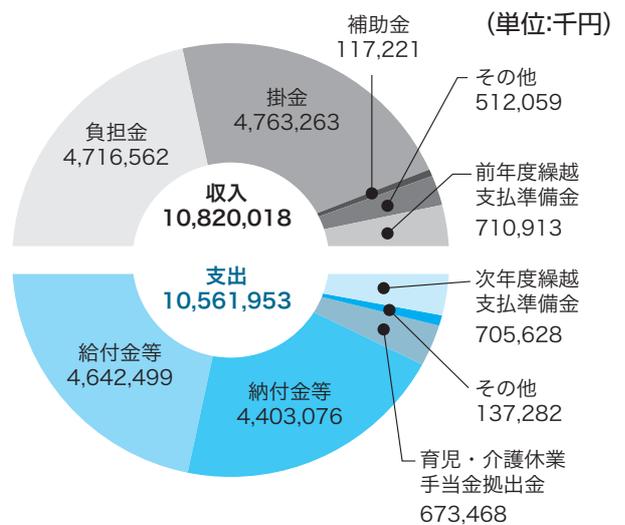
■ 介護保険

収入は、標準報酬月額等の増加や財源率の引き上げにより掛金・負担金が増加し、また介護保険事業費補助金も交付されました。

支出は、介護納付金が段階的な総報酬割の増加、さらに厚生労働省から示された諸係数の誤りにより予算額を上回りました。

収入…負担金・掛金等	989,174,020円
支出…納付金等	1,007,297,458円
差引(当期介護損失金)	△18,123,438円

決算の結果、当期介護損失金が生じたことから介護積立金8,900,158円を取り崩して補てんしましたがなお足りず、介護繰越欠損金9,223,280円を計上しました。



厚生年金保険経理

厚生年金の給付に係る組合員保険料と負担金を徴収する経理です。

組合員保険料・負担金は、全国市町村職員共済組合連合会に払込みました。

収入…組合員保険料・負担金	23,667,208,638 円
支出…組合員保険料払込金・負担金払込金	23,667,208,638 円
差引	0 円

退職等年金経理

退職等年金給付(民間の企業年金に相当)の給付に係る掛金と負担金を徴収する経理です。

掛金・負担金は、全国市町村職員共済組合連合会に払込みました。

収入…掛金・負担金	1,509,892,090 円
支出…掛金払込金・負担金払込金	1,509,892,090 円
差引	0 円

経過的長期経理

平成27年9月以前に受給権が発生した公務上の障害年金・遺族年金の給付に係る負担金を徴収する経理です。

負担金は、全国市町村職員共済組合連合会に払込みました。

収入…負担金	110,064,513 円
支出…負担金払込金	110,064,513 円
差引	0 円

退職等年金 預託金管理経理

全国市町村職員共済組合連合会が管理する退職等年金給付組合積立金の一部から預託を受けて、貸付経理への貸付けを行っています。

利息及び配当金は、支払利息として全額を連合会預託金に振り替えました。

収入…利息及び配当金	16,889,514 円
支出…支払利息	16,889,514 円
差引	0 円

経過的長期 預託金管理経理

全国市町村職員共済組合連合会が管理する経過的長期給付組合積立金の一部から預託を受けて、地方公共団体が起債する縁故地方債の引受けを行っています。

利息及び配当金は、支払利息として全額を連合会預託金に振り替えました。

収入…利息及び配当金	7,910,226 円
支出…支払利息	7,910,226 円
差引	0 円

業務経理

業務運営に必要な事務費や人件費を賄っています。

収入は、組合員1人あたりの単価が引き下げられたことにより、地方公共団体負担金や連合会交付金が減少しました。

支出は、システム機器の更改を行ったため委託関連費用が増加したものの、マイナンバーによる情報連携システム構築が終了したことから連合会分担金が減少しました。

決算の結果、当期損失金が生じたことから積立金を取り崩して補てんし、積立金は496,418,122円となりました。

収入…負担金・交付金等	292,458,377 円
支出…事務費等	295,598,205 円
差引（当期損失金）	△ 3,139,828 円

保健経理

組合員及びその被扶養者の健康増進や保養のため、人間ドック、特定健康診査・特定保健指導、宿泊施設等の利用助成などを行っています。

収入は、標準報酬月額等の増加により掛金・負担金が増加しました。

支出は、人間ドックの日帰りが増加し宿泊が減少したことなどにより厚生費が減少しました。

決算の結果、当期利益金が生じたので積立金に積み立て、積立金は487,110,320円となりました。

収入…負担金・掛金等	433,330,278 円
支出…各保健事業・事業費等	429,898,204 円
差引（当期利益金）	3,432,074 円

■ 支出の内訳

項目		決算額	概要
厚生費	人間ドック・PET 検査	272,344,308 円	人間ドック 9,769 人 PET 検査 92 人
	がん・婦人科・歯科検診	49,209,650 円	がん・婦人科検診 20,073 人 歯科検診 1,466 人
	インフルエンザ助成	12,161,000 円	12,161 人
	宿泊施設利用助成	19,033,000 円	6,546 人
	その他	36,492,578 円	救急薬品等配付、電話健康相談、 育児指導誌、医療費通知など
特定健康診査・特定保健指導		24,287,923 円	特定健康診査 10,327 人 特定保健指導 581 人
その他		16,369,745 円	連合会分担金、委託費など
計		429,898,204 円	



貯金経理

貯金加入者の積立金を運用し、その運用益を還元することで福祉の向上を図ることを目的としています。

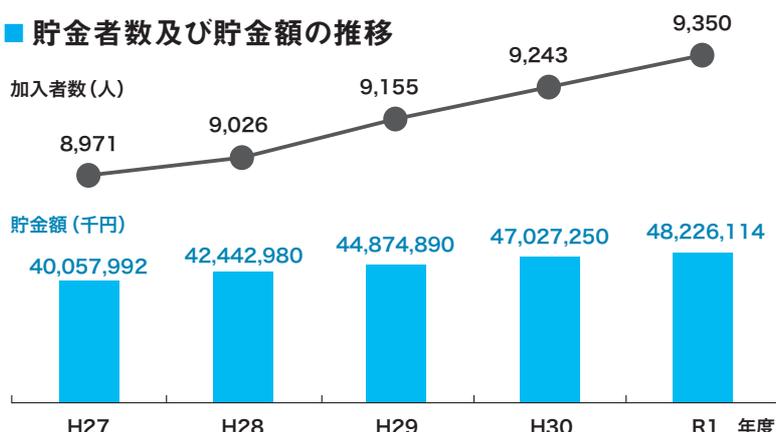
収入は、投資有価証券の購入により利息及び配当金が増加しました。

支出は、貯金額残高の増加により支払利息が増加しました。

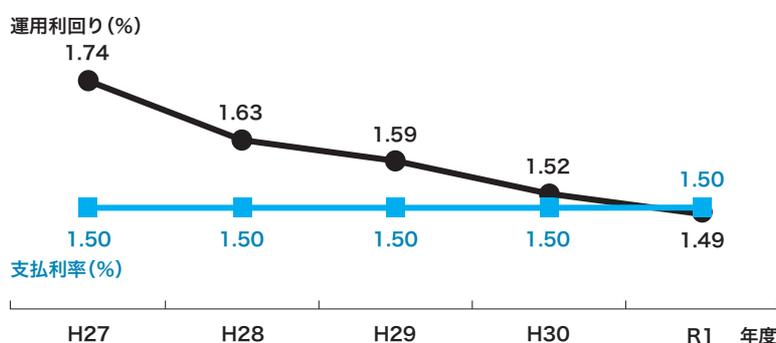
収入…利息及び配当金	752,972,778 円
支出…支払利息等	744,611,983 円
差引（当期利益金）	8,360,795 円

決算の結果、当期利益金8,360,795円が生じましたが、貯金残高の5%を積立てることとされている欠損金補てん積立金へ積立て、不足分は積立金51,582,409円を取り崩し補てんしたため、積立金は752,950,502円となりました。

■ 貯金者数及び貯金額の推移



■ 資産の運用利回りの推移



■ 保有投資有価証券

区分		金額
国債	利付国債	18,647,935,000 円
	国債計	18,647,935,000 円
地方債	群馬県公債	200,000,000 円
	埼玉県公債	299,950,000 円
	愛知県公債	500,000,000 円
	福井県公債	100,000,000 円
	兵庫県公債	299,737,000 円
	福岡県公債	200,000,000 円
	那須塩原市地方債	20,000,000 円
	地方債計	1,619,687,000 円
社債	九州電力社債	200,000,000 円
	東日本旅客鉄道社債	2,000,000,000 円
	東海旅客鉄道社債	1,100,000,000 円
	西日本旅客鉄道社債	600,000,000 円
	東京地下鉄社債	800,000,000 円
	東京瓦斯社債	599,466,000 円
	大阪瓦斯社債	100,000,000 円
	東邦瓦斯社債	200,000,000 円
	三菱東京 UFJ 銀行社債	1,400,000,000 円
	社債計	7,300,466,000 円

区分		金額
社債	三菱東京 UFJ 期限前償還条項付社債	1,400,000,000 円
	SMBC 日興証券 # 6254	1,000,000,000 円
	大和証券 # 13010	1,000,000,000 円
	社債計	10,399,466,000 円
諸債券	公営企業債	400,000,000 円
	日本高速道路保有債務返済機構債	7,796,419,000 円
	一般担保住宅金融支援機構債	3,994,450,000 円
	地方公営企業等金融機構債	199,328,000 円
	国際協力機構債	896,448,000 円
	地方公共団体金融機構債	1,100,000,000 円
	日本政策金融公庫社債	800,000,000 円
	東京都住宅供給社債	700,000,000 円
	新関西国際空港社債	899,920,000 円
	福岡北九州高速道路債券	300,000,000 円
	鉄道建設・運輸施設支援機構債券	700,000,000 円
	都市再生債券	399,860,000 円
	諸債券計	18,186,425,000 円
	計	48,853,513,000 円

貸付経理

組合員の生活の安定と福祉の向上のため、臨時に資金を必要とする時の貸付けを行っています。

収入は、新規貸付金及び貸付金残高の減少により組合員貸付金利息が減少しました。

支出は、長期借入金 の減少により支払利息が減少しました。

収入…組合員貸付金利息等

33,814,303 円

支出…支払利息等

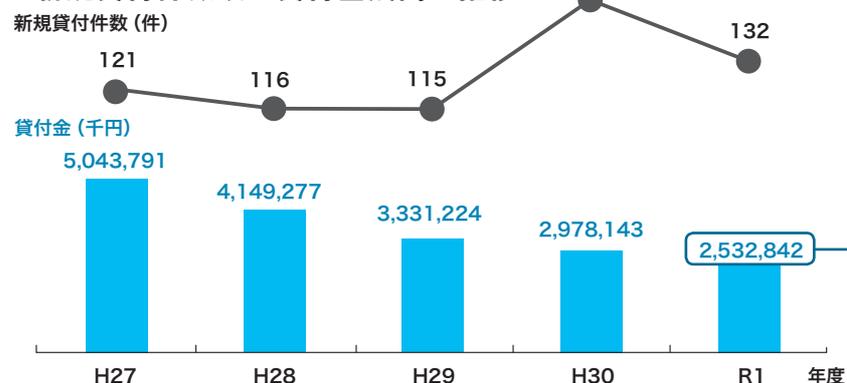
29,617,530 円

差引(当期利益金)

4,196,773 円

決算の結果、当期利益金4,196,773円が生じましたが、貸付金残高が減少したため取り崩した欠損金補てん積立金22,265,022円を合わせ、積立金は862,573,636円となりました。

■ 新規貸付件数及び貸付金残高の推移



区分	利率(年)	件数	貸付金
普通貸付	1.26%	318件	207,768,415円
住宅貸付	1.26%	622件	1,946,277,333円
在宅介護対応住宅貸付	1.00%	44件	52,575,550円
災害貸付	0.93%	8件	18,298,860円
特別貸付	1.26%	266件	270,626,020円
特例災害貸付	0.63%	7件	37,296,173円
計		1,265件	2,532,842,351円

物資経理

組合員の皆さまが物資指定店から生活需要物資を購入した代金の立替事業や遺族付加年金“さすな”事業を行っています。

収入は、新規立替金や遺族付加年金“さすな”加入者の減少により受託商品手数料が減少しました。

支出は、物資立替事故の発生に伴い保険料が増加しました。

収入…受託商品手数料等

37,378,160 円

支出…立替金保険料等

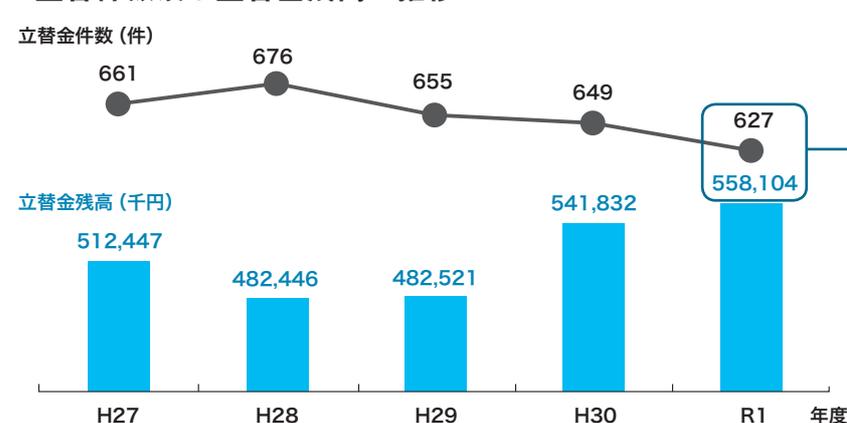
9,661,443 円

差引(当期利益金)

27,716,717 円

決算の結果、27,716,717円の当期利益金が生じたため、欠損金補てん積立金及び積立金に積立てました。

■ 立替件数及び立替金残高の推移



区分	件数	立替金残高
一般物資(無利子)	35件	4,235,100円
自動車物資(年利1.0%)	592件	553,868,401円

財形経理

財形経理は昭和54年の発足以来40年間一度も利用がないため、令和2年3月31日をもって閉鎖しました。

なお、閉鎖に伴い、利益剰余金2,155,678円は業務経理へ繰り入れました。